

鈴木俊郎 としか 宗教評論家。明治二十四年四月神奈川県生れ。昭和五十七年二月歿（一九〇一—八二）。慶應義塾大学経済学部卒。雑誌『獨』の編輯、また二次の反その岩波書店版内村鑑三の全集、著作集編纂に携はる。

編譯著書『進徳集内村鑑三先生』(編、昭和九年五月十五日岩波書店)、内村鑑三著『余は如何に』(著、基督教信徒とならんとす) (譯、昭和十年五月十五日岩波書店、再刊、十二年十一月十五日「岩波文庫」)、『福首と歴史』(昭和十七年十一月十日日英堂書店、「聖書研究叢書」)。再刊、二十五年一月一日明和書院「明和選書」)。『世界史と日本の問題』(宗教的視角より見たる) (昭和二十二年十一月十日波路書房)、『進徳集内村鑑三』(編、昭和二十四年四月五日波路書房)、『自由人の聲』(合著、日本放送協會編、昭和二十四年五月二十日刀江書院)、『回想の内村鑑三』(編、昭和二十一年二月二十六日岩波書店)、シユヅァイツェル著『キリスト教と世界宗教』(譯、昭和二十一年十一月五日岩波書店)、『岩波文庫』)、『内村鑑三と現代』(編、昭和二十六年十月十日岩波書店)、『ニ谷隆正一人・思想・信仰』(共編、昭和四十一年十一月十五日岩波書店)、『内村鑑三以後四十年』(編、昭和四十六年二月十八日岩波書店)、『内村鑑三所感集』(編、昭和四十八年十一月十七日岩波書店)、『岩波文庫』)、『内村鑑三伝—米國留學から』(昭和六十一年一月二十一日岩波書店等)。

